

1年生になりました

りんご、ごりら、らっば…

何十年ぶりだろう、これほど真剣にしりとりするのは。
なかなか言葉が浮かばない。明らかに戸惑っていた。
いや、単にブランクのせいだけではない。
ほとんど忘れかけていた小学1年だった頃の自分に
いきなりタイムスリップさせられたような不思議な感覚。
それは突然やってきた。

「園長先生、机を用意しましたので一緒に勉強しましょう！」

先月、新卒園児の小学校から幼保の職員対象の授業参観に招かれた。
初めての学校生活を送るK君の姿を人影からこっそりのぞくだけ
の、はずだった。

車を走らせ、曲がりくねった山道をぬけ、やってきた。
山々の新緑に包まれ、ゆったりとした時間の流れる小学校。
この春、4名の新1年生を迎えたという。

園の用事があり、ぎりぎりに出発したからだろうか
校舎玄関には、すでに来客用スリッパが一足残されているだけ。

「最後になってしまったか…」。

恐縮して廊下を進み、教室前で深呼吸しドアを引いた。

「みなさん、今日はつくし保育園からお客様がきてくれましたよ」
待ってましたといわんばかりの先生の紹介に、視線は私に集まった。
「あれっ?」。そこには先生と生徒4人のほか、「私、ひとり…?」
お辞儀をしながらおすおす後方に立った瞬間、冒頭のお言葉。

4人の席の横には、しっかり私の席が用意されていた！
国語の時間だった。配られた用紙に習ったばかりのひらがなを
しりとりで遊びながら仲間と楽しく書き入れる。なごやかな授業。

「ぶ、で始まるのは何かな？ ほら、これ」（泳ぐ真似する先生）

「ぎ、は?」（お腹の前で腕を上下にかき鳴らす）

夢中でことばを楽しむ彼らの足をひっぱらないようにと願いつつ
私もウン十年ぶりにピカピカの1年生に戻してもらいました。
最後にひとつ、何よりもうれしかったこと。

K君がなんども私を振り返り、最高の笑顔を見せてくれたこと。

(つくし保育園園長 つだかずお)

<だいで教会より>

花の日こどもの日礼拝

6月10日(日)午前10:30より、お庭のチャペルで
園庭に咲く、青、ピンク、白のアジサイに囲まれて、神さまにいただく
いのちを感謝する花の日こどもの日。聖書メッセージ、心暖まる讃美歌。ご
家族、友人、子どもたちと、ぜひどうぞ!